

● 連載 No.9 ● スタート！小中一貫教育

多久市の教育の特色を活かした実践

(学力向上、心の教育、多久学、交流活動、ICT教育、国際化)

■ 問い合わせ

教育委員会 学校教育課 ☎75-2227



多久市小中一貫教育の6つの特色について、紹介を続けています。今月号は、児童生徒の「学力向上」への取り組みと、幼保小の連携などの「交流活動」について実践内容を紹介します。

学力向上



児童生徒の学力向上に向け、「先生は授業で勝負する」という精神のもと、①市内全教員による研究授業の実践、②小中学校の授業参観を通じて、義務教育9か年の授業づくりのための自己研鑽を積み上げています。また、きめ細やかな指導展開として、チームを作って授業を行う『ティーム・ティーチング』や学級の児童生徒を2つのグループに分けて『少人数の授業』を実践するために、市内に10人の常勤の先生、5人の非常勤の先生を別枠追加で配置しています。更には、小中一貫教育を活かして小中の先生がチームを組み、中期(5〜7年)段階で重点的に授業を実践しています(写真は西溪校のタブレットパソコンを活用した研究授業の様子)

交流活動

市では、1年から4年を前期、5年から7年を中期、8年と9年を後期として、3段階の区割りを活かした学習活動や行事に挑戦しています。

○ 中央校…小中のペア学年でトイレ磨き活動

○ 東部校…文化発表会を5・9年生で実施

○ 西溪校…夏季小学部学習会の先生役を中学生が務めて指導・支援

このように様々な学年の組み合わせの中で、小中学生の心を豊かに耕すとともに、いろいろな人との関わり方を学んでいます。また、幼稚園児と保育園児と1・2年の交流活動、5・6年生が多久高校生のお世話の中でパソコンや福祉や工作等に挑戦しています。児童生徒の学びの輪が小中一貫校になって更に広がっています。



▲中学生合唱コンクールの感想を中学生に届ける小学生(中央校)

一 多久市の小中一貫校・教育の視察が続く一

義務教育9か年のなめらかな接続、小中教職員の協働を生かした教育実践、「中一ギャップ」と称される不登校や問題行動等により良く対応するために、今、全国的に、小中一貫校が数多く開校しています。

しかし、多久市のように、**学校教育の特色**として6本の柱(学力向上、心の教育、多久学、交流活動、ICT教育、国際化)を掲げ、全学校が切磋琢磨しながら実践する学校づくり。また、**市内全域で小中学校の統廃合**を行い、その直後に、市内全域で**一斉に小中一貫校を開校**させた市町村はほとんど例がありません。更には、小中学校の**施設一体型**(東部校、西溪校)、同一敷地内に**小中学校が併設**(中央校)、小中の先生が**同じ職員室**に入るといった画期的なシステムに、県内外から多久市の小中一貫教育への視察が昨年後半から続いています。すでに、40件近くに至っています。

11月10日(日)の多久市教育の日には、東部校で「多久市小中一貫教育研究発表会」を開催し、県内外から約250人の先生が集い、授業公開や分科会を通じて小中一貫教育について研修を深めました。また、当日午前中は全学校を公開し、多くの地域みなさんに参観いただきました。

借金問題

過払い請求

広告

○サラ金からの借金を完済された方、時効前(10年)であれば、過払い請求が可能です。
○過払いの請求の場合、着手金不要(解決後、報酬金のみ)裁判までします。(印紙代等の実費は負担)

借金の相談は無料で随時受け付けます。民事・刑事の身の回りの問題もご相談ください。

営業時間 平日 9:00~18:00 土曜 9:00~12:00 日曜・祝日休

高崎繁行法律事務所

弁護士 高崎繁行(佐賀県弁護士会所属)

唐津市千代田町2109-17 くりはビル1F

TEL 0955-70-0315



12月の定例教育委員会のお知らせ

日時 12月12日(木) 13時30分~

場所 市役所 第2委員会室(自由に傍聴できます)

■ 問い合わせ 教育委員会 教育総務課 ☎75-3450